

会員リレーコーナー

どうも
しばらくです

わしました。

今回登場された会員からバトンを渡された会員の皆さんは次回の掲載になりますのでよろしくお願ひいたします。

※氏名の後の（）は退職年を示す。

或る事から大好きなゴルフをやめて7年目になり、これといって皆様へお聞かせする事柄はありませんが、思いつくまま転勤や健康方法等を列記させて頂きます。

昭和21年出生した私は、大学卒業後、昭和44年日本電信電話公社へ入社。配属は平局・自動運用課。その後、福島電気通信部をはじめ、仙台の東北通信局や岩手、秋田の通信部、報話局の勤務を経てNTTサービス福島で平成17年3月に退職。同年4月NTTソリューションに入社し、平成23年3月に退職。42年間勤続し、転勤は14回となり、その都度「Fresh & Try」をモットーに遂行し、多くの方々からご指導・支援を仰ぎ、今も「宝

今年度、「後期高齢者」を迎えるにあたり、健康についてWHO（世界保健機構）では、健康の条件を①病気でない事、②精神・肉体的・社会的に適応力がある状態と決められておるそうです。なお、健康な生活を送る最小の知恵は「戸外」と「家中」でやれる趣味等をひとつずつ持つ事だそうです。成程、最小知恵行動はクリアしているが、果たして7周目の「戌年」を迎えることが出来るのかなあ～：

次のバトンは東北電気通信局＆電友あさか会にて一方ならぬお世話になりました山形出身の白田敏勝さんにバトンします。

平成21年にはNTTを退職しテルウェル東日本に再就職、東北電報センター勤務ということで、また懐かしの中電ビル勤務となりました。それもたびたび仮眠をした3階フロアでした（笑）

2年後の平成23年に「東日本大震災」にあり、電報というベーシックな電気通信サービスの復旧・確保のため、毎日リユックに充電器を入れ自宅から約10kmを電動自転車で通い続けた日々は生涯忘れることはないと存じます。

今は更地となり新ビルの建設工

事中で昔の面影はなくなりた懷かしの中電ビルで、苦楽を共にした田山満さんよりバトンを受け取りました。ありがとうございます。

中電ビルでの通信機器事業部時

弘前の島津さんからバトンを受けて「福通（運用課）」にての2年間ご一緒に思い出や「平成30年東北地方本部評議委員会」にて偶然お会いし、44年ぶりに親交を交



電友あさか会
星 日出明（平17）

からのバトン

白田 敏勝さんへ



電友あさか会
星 日出明（平17）

からのバトン

白田 敏勝さんへ



五ツ橋クラブ
太田 守（平21）

からのバトン

盛岡電友会
鈴木 平人さんへ

からのバトン

鈴木 平人さんへ





磐梯山 (2020.8.23)

平成31年にはテルウェル東日本も退職し、孫との散策と五橋サーカル「山の会」の月1回の山登りで健康維持に努めています。

次のバトンは、私の新規任用地の水沢支店と岩手支店で公私ともにお世話になり、特に平成12年の「業務運営改善施策」により窓口・支店廃止施策で共に苦労した岩手県水沢市の鈴木平人さんにお渡します。



五ツ橋クラブ
亀ヶ川 勇一 (平21)

盛岡電友会 熊谷 栄一 さんへ

からのバトン



一関から仕事を共にした藤原登代治さんから、いつになく神妙な話し方での電話。この会員リレー コーナーのバトンタッチでした。 盛岡から一関に転勤になり、彼は宅内業務、私はLMCで線路業務と職種は違つてましたが社宅が一緒に家族がらみの付き合いをさせて頂いておりました。余談ですが妻の名前がヨシエ（字は違いますが）で互いに「ヨシエ」は元気か?!等とふざけて呼んでいました。仕事面では1時期プロジェクトを組んで局内MDf突合を所内のメンバーも含めて実施しました。そんな事も含め、当時の井上一芳支店長からは「お前たちは足して2で割ると丁度いいな！」と冷やかされた事を思い出します。

私の採用地は東京の武藏府中電

報電話局多摩分局でした。13年間 東京におり、丁度電電公社からNTTに民営化となつた昭和60年4月北上電報電話局に転勤となり、ここから東北での勤務がスタートしました。

北上局時代、当時ASK活動が盛んになった時期で岩手支社において各局代表者の発表会が行われ、ここで岩手の中で活躍している方々との交流があり、その後の岩手管内の業務を行う上で大きな足掛かりとなりました。それから、岩手支社設備企画担当、藤原登代治さんと遭遇した一関支店含め10年間岩手で仕事をさせて頂き、地元宮城に転勤する事となりました。平成7年3月に赴任してみると転勤先の土木センタが組織見直しにより、1ヵ月で設備建設センタと統合となり担当も総合マネジメント担当に変更となりました。ここでは、請負工事に係る工事会社等との間で計画した工事を如何に工期通りに完工させるか、それぞれの担当者と時には激論を交わし、時には宥め合いながら進めて来ましたが、互いの考え方を整理し、

どのように結論に結び付けていくのか等良い経験ができた時だと思います。

また、宮城では2期勤務した仙台カスタマサービスセンタでの事が思い出されます。特に現在故障修理で使用されている「故障支援システム」の原型となつたと思つていて「ADMACS」を当時のセンタ内社員の意見を聞き皆の協力を得て創り上げられたことです。システムを現場で使用する側の意見、手配する側の意見、投入されたデータを使用する側の意見等を反映できるようとりまとめ、一人ひとりの思いを結集してシステム化するとともに統制体制もセットで構築する事が出来ました。改めて当時の皆さんに感謝しております。平成21年NTTを退職し協和エクシオ東北支店に勤務、現在は大和電設工業へ派遣社員として勤務しながら本業？の米作りにも励んでいます。また、地元神社の総代長を任せられ地域貢献との思いで取り組んでいますが、お目当ては奉仕後の直会での一杯と研修旅行での神社仏閣巡りです。ところ

が、去年と今年は、新コロナ禍でどこへも行けず寂しい限りです。次のバトンは、岩手支社時代に岩手の線路設備更改計画について一緒に取り組んだ熊谷栄一さんへお渡したいと思います。



鹽竈神社内にある志波彦神社拝殿前

影響で、1年延期された東京五輪の聖火リレーが、3月25日東日本大震災から10年、福島県からスタートした。私の入社は前回の東京五輪開催の年1964年です。

当時、貴方は「何屋さん」とよく聞かれた。小生の経歴はちょっと変わっていて、搬送屋から、仙台電気通信学園の教官として着任しました。今後主流となる電子交換機の導入により、東北・北海道の機械屋が数多くの集合したのだ。その後どこの局に顔を出しても卒業生がおり、非常に心強かつた思い出がある。その後、保全局仙台即時網保全管理室の即時網管理員として、災害や事故による通信網の復旧等にたずさわり、以後の通信網の確保という点では、経験を生かすことができた。その後、青森局市内機械課でお世話になり、

今回、宮城通信部、機械保全課で一緒に高橋幸雄君からバトンを渡されたのを機に懐かしい思い出をたどることができた。特に船岡橋流出災害、東京世田谷の火災による交換機復旧への応援派遣、TA



小松 幹男(平7)
五ツ橋クラブ
からのバトン

千秋クラブ 鎌田 久雄さんへ

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、1年延期された東京五輪の聖火リレーが、3月25日東日本大震災から10年、福島県からスタートした。私の入社は前回の東京五輪開催の年1964年です。

当時、貴方は「何屋さん」とよく聞かれた。小生の経歴はちょっと変わっていて、搬送屋から、仙台電気通信学園の教官として着任しました。今後主流となる電子交換機の導入により、東北・北海道の機械屋が数多くの集合したのだ。その後どこの局に顔を出しても卒業生がおり、非常に心強かつた思い出がある。その後、保全局仙台即時網保全管理室の即時網管理員として、災害や事故による通信網の復旧等にたずさわり、以後の通信網の確保という点では、経験を生かすことができた。その後、青森局市内機械課でお世話になり、

今回、宮城通信部、機械保全課で一緒に高橋幸雄君からバトンを渡されたのを機に懐かしい思い出をたどることができた。特に船岡橋流出災害、東京世田谷の火災による交換機復旧への応援派遣、TA

T要員による技術支援、東北で最初のD70交換機を苦竹局でサービス開始。仙台新港での防災演習等々、走馬灯の如く思い出され、高橋君を中心に、多くの仲間に支えられ楽しく仕事に集中できたことに感謝したい。

その後、仙台青葉通支店や氣仙沼支店では、ライオンズクラブやロータリークラブに入会し、地域に密着した仕事をすることが出来た。

ある日突然風邪のウイルスにより脾臓が損傷を受け、自分でインスリンを作ることができなくなる「1型糖尿病」を発症し、早15年になる。毎食直前3回と寝る前に1回、インスリン注射が必須です。さらに妻には自分の体調が悪い時も食事管理に気をつけて毎日食べさせてくれて感謝の気持ちでいっぱいです。

10年前の東日本大震災では、我が家も床上浸水の被害に遭いました。たが、テレビに流れる気仙沼・志津川の惨状には言葉を失い、その光景は目に焼き付いて離れない。

被災地でどれだけ復旧し、復興へ

の歩みを進めているのか、自分の目で確かめたいとの思いがあるが体調がすぐれず実現していない。次のバトンは能代、通信部通信局等で御指導いただいた秋田千秋クラブの鎌田久雄さんにお渡しますので宜しくお願ひ致します。



千秋クラブ 柴田 幸雄(平12)
からのバトン

五所川原支店でお世話になつた澤田真一さんからバトンを受け取りました。

お久しぶりです。あの節はお世話になり有難うございました。私はNTTを退職して早くも20年を経過。勤続38年、勤務地が変わったこと15回、転居は16回であった。現役時代の思い出の土地を足・腰が大丈夫なうちと思い、平成30年

5月から8月にかけて関連する所をめぐる旅をした。今思うと新型コロナウイルス禍もなく良い時期に行けたと思つてはいる。採用は東京都下小金井局。東京オリンピックの前年の昭和38年で初任給は入社前の春闘で1000円積み上げで確か12、300円であった。初めて訪ねたのは入社時に訓練を受けた港区広尾町の東京学園。昔の面影は無く資材置き場等に。今は地下鉄広尾駅で下車すると直ぐだが、当時は満員電車の中央線・都電へと乗り継ぎ汗だくになりながら通勤したものだった。小金井局から小平局へと移り、若い連中でXB交換機を開設した所も今はME化になり閑散としていた。東京から名古屋へ近鉄経由でXB保守科2ヶ月訓練した鈴鹿学園へと向かった。昭和42年当時の学園は広々とした近代建物で食堂・寮は兵舎を利用してはいたが今は見当たらなかつた。さて、学園近くに鈴鹿サーキット場が有る筈。業管部勤務中に東北管内の電配社員の運転技能訓練所として引率した場である。朝8時から午後4時までく

たくたになるまで「運転度胸が試される場」で、直線コース180キロ以上で走行しなければ、指導者の車からマイクで大きな声で注意喚起される。指導者からは「東北の人たちはスピードが出ていない」と苦い講評であつたと記憶している。今はF1日本グランプリ・耐久ロードレース等が行われており、民間対象に研修を継続しているようだ。次は津軽弁に悩まされながらも3年すごした青森へ。魚が旨く色々な種類を食したが、米・味噌は実家から送つて貰つた。五所川原支店では事務棟が「たちねぶた館」の駐車場となつており、当時は青森ねぶたの小型化したのが祭りのシンボルで今のように大型「たちねぶた」ではなかつた。冬の地吹雪も、能代で経験していたので苦にならなかつた。「杜の都」仙台では通算約10年転々とした。仙台駅から職場が見えたが、今は高層マンションで見えなくなつていた。仙台の同僚と土手内の坂を登り仙台学園まで足を伸ばした。学園は売却され聖和学園高に引き継ぎしますのでよろしくお

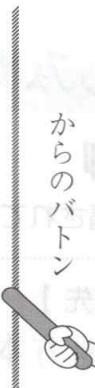
校として寮・教室・体育館・グラウンド等がそのまま活用されていた。既に15年経過しているという事に驚いた。仙台は災害復興景気と地下鉄東西線開業し、秋田と違って活気に溢れてるようと思われた。福島の友も呼び牛タンで1杯「友遠方より来る、あり、これ、また楽し：」旧友と親交を温めあって仙台の旅を楽しんだ。その他の勤務地は本荘局・能代局・大曲局・秋田局と思いつ出はそれもあるが書面の関係上省略する。転勤・転居で引っ越しの度に家具類の角々が丸くなり私自身も丸くなつたかもしれない。転勤・転勤の度（旅・足袋）に多くの人と出逢い、これまで大変お世話になつた方々に、一筆したためて感謝の気持ちを伝えたいと思つていたが「そのうちに」と思つてはいる間に時機を逸してしまつた事の繰り返しで皆様にはこの場を借り、心より感謝申し上げます。これが私の現役時代の思い出の一部です。

次のバトンは職場が一緒だったサラリーマン人生のうち初任地だった石巻局は懐かしい思い出です。石巻では3つの職場、都合10年間務めさせていただきました。当時の石巻は景気も良く、街も職場も活気のあるところでした。初期配置の電報課内テレクラブ、朝野球や毎年恒例の海浜キャンプ。計理課での万石浦芋煮会等。その

願いします。



五ツ橋クラブ 小野 祐一（令3）
からのバトン

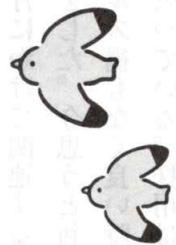


場で釣り上げたハゼの天ぷらの味は格別でした。そしてアフター ファイブ、いずれの職場でも先輩・同僚と歓楽街へ出かけたものです。先輩指導の下始めた船釣りは、現在も続いている数少ない趣味のひとつですがコロナの影響で昨年は船出は叶いませんでした。

石巻局では、厳しく指導いただいた反面、仕事以外では、上下隔たりなく気さくなお付き合いをいただけたこと等、思い出深い職場となりました。

在職中は数回の異動があり新任地で、その土地柄や人情に触れることができたことは、サラリーマン冥利に尽きると感謝しております。これからは、元気で暮らせるように健康管理に努めていただきたいと考えています。

それでは、コロナ影響により暫くお会いすることが叶わない五ツ橋クラブの鈴木利幸さんへバトンをお渡しいたします。



立と大阪での実地研修で多くの友

横浜都市管時代からの友人である山形電友会の細谷悦信さんからバトンを受け取りました。私は在職中の新規事業についての思い出を語りたいと思います。当時、東北通信局・東北総合支社・東北支社と名称変更があり、新規事業真只中の環境であります。私は五橋会館のホテル化検討プロジェクトの一員でした。東北の不動産開発会社「クレイス」の所属となり、福島のTさんや建築出身のSさん等多くの方にお世話になりました。本社不動産企画室勤務で大阪でのホテルマン研修に参画しました。研修では、ベッドメイキングやナイトマネジャー、ホテル立地の検討、運営ノウハウの修得等、多くの事を学びました。ホテル設



五ツ橋クラブ
三ツ谷 義規(平14)

からのバトン

五ツ橋クラブ
高石 茂さんへ



人を得てその後の業務に活かす事ができました。特にホテル研修で自分の身に大きな原動力となつた事は、人材育成とスタッフとの連携の重要性でした。パートの方も社員と同様の研修を受け、仕事が出来ると役職と給与が上がるということでした。そのため一人ひとりのモチベーションが上がるということです。

お客様から見ると誰が社員かパートか関係無いのです。会社の一員として同一なのです。出向から戻った私は、社内において常に以下の「スタッフ」という表現を徹底しました。全ての人が「スタッフ」であるということを念頭に、職場で対応をしました。今も肝に銘じて生活しております。

次のバトンは、東北通信局時代からの上司である五ツ橋クラブの高石茂さんにお願いします。仕事で行き詰まつた時いつも助言して頂きました本当に感謝しております。今後ともよろしくお願ひします。



でんでんみちのく川柳コーナー 原稿募集

○川柳

〈お一人3首(句)以内※〉

※多数投稿されている場合は勝手ながら編集担当で選定いたします。

【お問合せ・連絡先】

電友会東北地方本部

▶電話(022)212-1443 ▶FAX(022)212-1444

▶E-mail : keyaki@cocca.ocn.ne.jp

お題は自由です!
お気軽に
応募ください!

会友コーナー

文芸

俳句 短歌

隨想

文芸欄



俳句

弘前地区電友会

倉谷 景子

山晴れて田へ行く水と草の笛

梅雨深し色なき街の黄信号

十葉の白く灯るや夕茶会

仙南OB会

大庭美智子

節分やこの日のために鰯買ふ

いよいよ春隣家の花が目を奪う

温かき土持ち上げて蕗のたう

大庭美智子

もしもの時 入院準備しておけと

離れて暮らす 子等の心配

彼の人は 令和見ずして コロナ禍の

憂いもなくて 佛に召され

短歌

仙南OB会

仙南OB会

大庭美智子

近道で跳べた堰だが泥まみれ
県民歌電話に流れ癒される
コロナ禍やドコモに奉仕のメールかな
今日終り生きる喜び湯気の中
粗末な句ひとり推敲下手は下手

関戸 武

千秋クラブ

川柳

福島地区電友会
海岸の風のあとさきつばくらめ
炎暑や風の中から波の音
秋の虹もろさを知らず淡き恋

柏谷 武

88号 思いがけない 再会や
99才の 今でもすてき

老いて尚切り抜き多い好奇心



五ツ橋クラブ

近藤 詣壽

西行の詩のごとくに

柴（15才柴犬牡）逝きて

桜を手向け 送り出す今朝

老犬の見送りし今日妻と二人

さて明日からはと互いに思案

ランドセルからころからころ音弾み

孫らの先に 桜吹き舞う

—令和三年春 旧仙台学園にて

第3回専門部同級生を想いて作る—

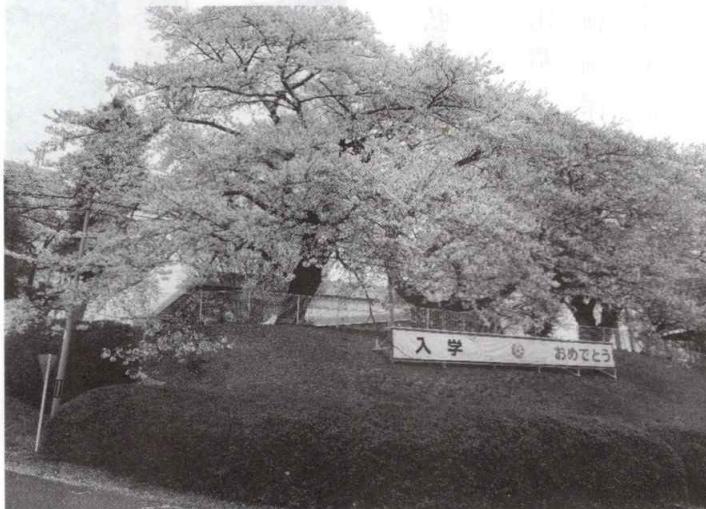
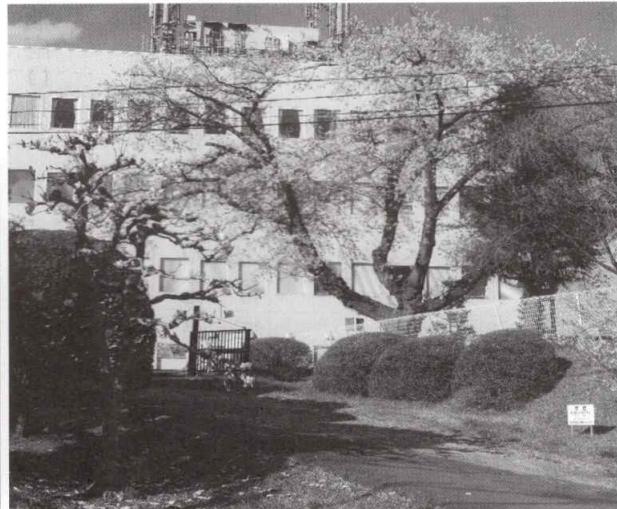
学舎の桜 青天を衝いて舞う

門に立てば往時の意氣廻る

（入学した頃の気概を思い出す）

誰か知らん 今春 病塵

（コロナウイルス）奮うとは

願わくば 来春 桜盃
（桜の浮かんだ酒盃）を君と交わさん昔の学園に咲いた桜は
今も変わらず…今は聖和学園となった
旧仙台学園

新入会員募集しています

電友会では、常時、新会員の受付をしています。

皆さんのご友人で入会されていない方がおいでになりましたら、ぜひ、入会を勧めていただきますようお願ひいたします。

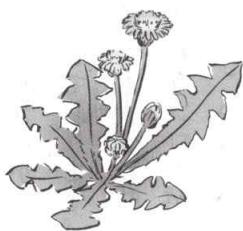
【お問合せ・連絡先】

電友会東北地方本部

▶電話(022)212-1443 ▶FAX(022)212-1444

▶E-mail : keyaki@cocoa.ocn.ne.jp

隨想



白寿のお祝いを頂きまして



五ツ橋クラブ 佐藤 金市郎

NTTさんからこの度白寿のお祝いを頂き有難うございました。お礼申し上げます。これ偏に職場、上司知己友人家庭のよき環境に恵まれた賜物と感謝しています。本当に楽し

く過ごしてまいりました。

省みれば、昭和11年に採用された当時の郵便局は通信省で電信も電話も郵便為替貯金保険と一緒にしました。加入数も役場、農協、小学校、診療所など10加入ほどで、一般住宅では必要のないものであり、高嶺の花でした。また、申し込んでもすぐには架設されないので当たり前でした。用事はすべて出向くか郵便で、急ぐものは電報です。宅配なんてありません。宅配は郵便と新聞だけです。

戦後、電気通信省電電公社に移行し、復興とともに一般家庭の申込も次第に増えまし



電友あさか会

佐川 仁子

静かな日常を望み、米寿を迎えて

米寿のお祝い品ありがとうございます

千秋クラブ

谷田部 忠哉

たが線路機械の設備不足のため開通できませんでした。加入係は対応に大変でした。昭和30年後半になって電話の自動改式が始まるとともに設備が増設され一般家庭も電話の時代となり、昭和40年中頃には直営局はすべて全国自動化になり、いわゆるゼロ発信（全国網）といつてダイヤル回すだけで一瞬にして沖縄から北海道まで交換手なしで通ずるようになります。また、販売に積極的になりポケベル、自動車電話、携帯電話の開発となり、いつ、どこでも通話できる便利な時代になりました。また、いまや携帯も6G7Gといわれており、電報トンツーの音響通信から印刷電信、自動中継化となり、そしてパソコン、スマートですね。壁掛手動磁石式の電話機時代からの通信機能や設備の発展にはただただ目を見張るばかりです。この先どんなになるんでしょうか。携帯も6G7G云々といわれているよう

で、因みに、私も99G（爺）になりました。思い出の一端を綴りお礼を申し上げます。

この度は米寿の御祝を頂戴いたしましてありがとうございました。昭和初期生まれの多くの方は経験していることですが、戦争で私も焼け出され疎開、転居、物不足等を子どもの頃に経験したせいか、特に静かな日常を渴望しました。

成人して茨城県石岡電報電話局に入局して10年、その後郡山局で30年勤務し、退職、30年となりました。在勤中は夜勤、宿直もあり大変ではありました。皆様の御指導やレク等もあり楽しく思い出深く勤務出来ました事感謝申し上げます。退職後は今迄出来なかつた家事や孫の世話、送迎等をしている中で、趣味として日本舞踊を選んだ事は正解だったかなーと思つております。ゆるやかな動きがかですが私の近況でございます。ささやかですが私の近況でございます。

皆様には、コロナに充分気をつけられますよう併せて御健勝をお祈り申し上げます。

にありがとうございます。

「じいちゃん88歳おめでとう」と1番下の小学4年の男孫からの手紙もありました。「見切り千両」を考える私には嬉しい事でした。皆様のご健康をお祈りします。

米寿の誕生日を迎えて



千秋クラブ

齋藤 洋子

小学4年の男孫からの手紙もありました。「見切り千両」を考える私には嬉しい事でした。皆様のご健康をお祈りします。

心にゆとりを



千秋クラブ

大島 幸子

私の誕生日にお祝いのご祝辞と記念品を頂き、嬉しいやら感激するやら、感謝するやら身に余る光栄に心から御礼申し上げます。

私は、1979年に早期退職をして41年。今こうして米寿を迎える日が来るなど夢のようです。

誕生日の朝早く、電友会千秋クラブからの記念品を事務局長の大川さんがお届け下さり、感謝と感激の米寿の日を迎え、色々な事が走馬灯のように思い出され、こんなに恵まれた職場で働かせて頂けた事に感謝し、歳を重ねる毎に幸せを噛みしめて居ります。

3年前に夫を見送り、1人暮らしをして居りますが民生委員さんやご近所さんからのお声掛けを頂き、元気に過ごしております。

コロナ過でお会いすることも大変な時ですが、ワクチン接種が早く終わりコロナが終結することを祈るばかりの今日この頃です。

最後に、電友会の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

まほろばの里をめぐる



五ッ橋クラブ

小坂 仁

悲願の涅槃の里は果てしなく遠い。今回も又、煩惱の山道をたどりながら夢にまで見た「阿古耶の松」を訪ね歩いた。米寿目前の87歳。命長ければ恥多し。身が朽ち人となる前に、そだて育んでくれた生家の里をめぐりたかつた。会津根の国若松の東の入り口である奥州の白河街道沿いの静かに時を刻む宿場、「湊村原」という集落であった。旅人に憩を与え、旅の頭や、先導役人などが投宿する「小松屋」。茅ぶきの長屋であった。村の真ん中には細い川が流れ、朝夕の飲み水ともなり村人の心を清めた。川上には熊野神社の祠があり、「人知れずの山の神」と言われ周辺部落の主神であつた。

神話と伝説のある由緒ある家柄らしく、奥座敷の天竺の部屋には伝来の和歌を伝える屏風がありざざ波が寄せる久方の流し絵であつた。

限りあれば咲かねど花は散るもの

心みじかき春の山嵐（蒲生氏郷）

東北電友会の益々のご発展をお祈り申しあげます。

線香の煙がたちこめ、ろうそくが光る神棚の靈床には、日露戦争で戦死し、天皇から下

賜された金鶴勲章と軍服姿の絵の掛軸があつた。護国の中となつた靈称は、小坂満寿。流れ筆の絵字であつた。祈りを捧げてみると、

ふと自刃した会津の白虎隊を思い出し哀しかつた。家族のため、故里のため命を賭けて戦つた人々。決して忘れられない。七生死してわが故里を護つた涙の祖先。

「窓下の、まどかの人」。黄熱病の研究との戦いで天に召された野口英世の生家は、わが家から3キロ先の浜辺にあつた。思い出の裏の畠には幼き頃水を注いだ樹があり、桃がひとつ色づいていた。背戸の細い草むらの道を彷徨い歩いた。猪苗代湖に通じる山合いの妻の墓では、くちなしの花と白萩の群れが待っていた。夏蝉が聞こえる小さな森の丘では観音様や阿弥陀様、合掌姿の聖観音様が私を招いて下さつた。靈感のただよう中で声なき祈りに手を合わせていると、足元に故人の魂が宿り、心の奥に仏が沈んだ。ふる里は神仏の里でもあつた。近くの山には神仏が宿る聖林寺が見えた。さざ波が寄せる沖には磐梯山の山並みが見え、夕暮れの波の背には亡妻まぼろしが浮かんだ。

会津峰の國をさ遠み逢はなはば
偲びにせもと 紐結ばさね

花の季節の天狗山



白河地区電友会 北島 和子

桜花の報道が始まると次に花々の話題に心がはずみます。

コロナ禍を迷いながら4月16日に天狗山ハイキングを仲間と楽しんできました。

楽しみにしていたかたくりの花100万株の群生地には例年になく早めに散つたあとだつたことと、東北一を誇るやまぶきそこのお花畠は2日位早すぎ残念でしたが幸い、里山ガイドの穂積さんの案内により、天狗山には沢山の野草が樹生している事を知りました。

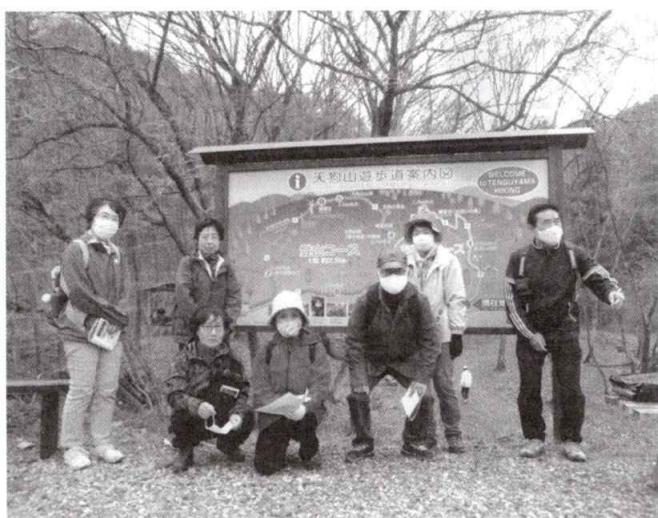
天狗山のスミレは他に類例がない程種類が多く樹生していることから大学でも研究しているほどなのでゆっくりと観察するように、と熱心に話されたので、私達も懸命に、咲いている花々の写真やメモを取つたりと大学生

のスミレは他に類例がない程種類が多く樹生していることから大学でも研究しているほどなのでゆっくりと観察するように、と熱心に話されたので、私達も懸命に、咲いている花々の写真やメモを取つたりと大学生



スミレの花

で知られています。



ハイキングメンバーと私の写真



会津電友会 武藤 豊昭

孫はテーマソングがお気に入り

わが家は、今ではなんとめずらしい8人家族です。朝6時過ぎになると、わーわーギャーギャーと叫びながら、元気な3人が2階から降りてきて、廊下や部屋中を走り回つて恒例の運動会? そのうち、外に飛び出し自転車や三輪車を乗り回して道路に出ようとするので

は白河市の郊外にある標高626メートルの山で例年11月に日本1遅い山開きがあること

朝から大声を張り上げて、見張りをするのが日課です。

また、我が家には、妻の作った「孫のテーマソング」があります。それぞれの誕生を記念し「元気で、大きく育つように」と願いを込めて作った歌です。「ひなみちゃんの歌・はるたくんの歌・やまとくんの歌」はいつも歌つていて気に入っているようです。3人の音程の合わないコーラス?は、それはそれはメチャクチャで、でもそれがかえって可愛くてとても癒されています。待望のCDが完成し、孫と大きな声で歌つていたら、近所の人達が「何だ!その歌は」と興味津々。孫のおかげで、こんなに充実した日々を送らせてもらつていて、有り難いです。大変なことも沢山あるけど、その分楽しいこともいっぱいあります。「苦あれば楽あり」の毎日で、大家族の幸せをかみしめています。

回想



いわき電友会

佐藤 健

した当時のいきさつを回想してみました。

私が高校を卒業した昭和27年の日本は敗戦後間もなくの頃で食糧も物資も乏しく公共職業安定所（ハローワーク）は職を求めている人々で溢れていきました。就職出来ない状態で卒業した私を女手一人で育てあげた母は大変心配して、たまたま近所に東北電気通信保全工事事務所（通称工作工場）に勤めていた方がおられ、その方の紹介によりなんとか工作工場で働くことが出来るようになりました。

当時電電公社では新規採用をしていなかつたので身分は臨時作業員として雇用されました。当時工作工場では壊れたり古くなったりした中古の電話機と交換機を再生することを業務としていました。当時の日本では需要を全て新品で賄うだけの資材がなく、その不足分を工作工場の再生品で補つていると聞いていました。私の担当はカンナと塗装で新品のようになつたデルビル電話機の箱にメッキでピカピカとなつたターミナルやその他の部品を取り付けて再生電話機を作ることでした。月給は4500円で私は張り切つて仕事をしておりました。このような作業を約2年弱続けていたある日突然、業務量が少なくなつたとの理由で私達臨時作業員は解雇を言い渡されました。あとで日本が復興してきて再生品を作

った当時のいきさつを回想してみました。

再就職する当てもなく悶々と失業生活を送つていた私を見かねた母は神さまにお願いするため、榴岡の八幡神社に百度参りをするようになりました。そんな日が2~3ヶ月続いた頃、母の百度参りの事情をその神社の宮司さんが聞きとめ、私の再就職のため骨を折つてくださることになり、就職先に宮古電報電話局を紹介していただきました。身分は臨時雇用の清掃要員でしたが、私は喜んで宮古で働きました。それから1年後には念願の正式社員として採用していただき、母と一緒に喜びました。そしてこれが私の35年に亘る電電公社人生のスタートとなりました。最後なりましたが拙い私のためご尽力いただいた人生の先輩の方々に深く御礼申し上げる次第です。

私の遍歴



弘前地区電友会

佐藤 光英

学校を卒業し池袋の郵便局へ就職。その後弘前の特定郵便局に配属され、そこから弘前電報電話局へ転勤となり、その後鰐ヶ沢、他退職してから29年がたち米寿を迎えるまであと少しとなりました。私が電電公社に入社

る必要がなくなったからだと聞きました。

再就職する当てもなく悶々と失業生活を送つていた私を見かねた母は神さまにお願いするため、榴岡の八幡神社に百度参りをするようになりました。そんな日が2~3ヶ月続いた頃、母の百度参りの事情をその神社の宮司さんが聞きとめ、私の再就職のため骨を折つてくださることになり、就職先に宮古電報電話局を紹介していただきました。身分は臨時雇用の清掃要員でしたが、私は喜んで宮古で働きました。それから1年後には念願の正式社員として採用していただき、母と一緒に喜びました。そしてこれが私の35年に亘る電電公社人生のスタートとなりました。最後なりましたが拙い私のためご尽力いただいた人生の先輩の方々に深く御礼申し上げる次第です。

数ヶ所の転勤後、45歳で退職しました。35歳の時に、菊池久子先生のお世話で弘前大学病院にて心臓の手術を受け、その時、鰯ヶ沢、弘前の社員の皆様から血液等提供頂き誠に有難く今でも感謝しています。また、弘前ではねぶたのN T Tマークを作らせて頂き、そのマークが今だにねぶたの先頭を歩くのを観て頭が下がる思いです。鰯ヶ沢ではカエルコールの雪像造り、青森では青森雪祭りの企画運営を任せられ、社員と楽しく実施しました。仙台では、学園人材開発部の教官をし勉強で寝る暇もなく大変な思いをしました。

大曲では、大曲花火大会でのテレホンカード販売で花火を楽しませて頂きました。

横手においては、何ヶ月も勤めることなく退職となり残念でした。退職後は、5年の準備を重ね、2000年に岩木山麓百沢に、小松野温泉、旬楽（公衆浴場、飲食店）を開業しました。また、一町歩余りの土地を利用し 果樹、野菜等を作り市場に出荷していました。それでも栗、りんご、ナシ、モモ、サクランボ、ウメ、カキ、ブドウ、ブルーン、キウイ等有ります。収穫された物は、来店された皆さんに提供いたしますが、熊、穴熊、猿、タヌキ等の餌にもなっています。店の状況は、何年

間は盛況でしたが、最近はコロナの影響もあり来店客も少なく自由時間が増え、山菜取りや川に投網で鮎、イワナ等取りに行き、お客様と一杯やつて楽しんでいます。コロナ禍の中、皆さんも十分気を配り絶対感染しないよう注意して下さい。

最後に皆さんのご健康と益々のご活躍を祈っています。お時間が出来たら「!!是非遊びに来て下さい!!」お待ちしております。

忘れられない出来こと

八戸地区電友会 手倉森 石男

①ようやく加入電話を大量に架設できるようになつた昭和47年頃のことだ。

毎週青森銀行八戸支店の2階をお借りして約150件の加入手続き会を開催。出席者は120名程。その会でベルの音を調節できるカラー電話機の受付をすることになつた。料金は月額50円。

数に限りがあるので予定に達すると締め切りとなる。「他に何かありませんか」と問いかける50才ぐらいの男性から「いま注文しない人には何色がつくんですか」との発言が

あつた。会場のアチコチから、せせら笑いの声が聞こえてくる。

私は「それは黒に決まっているでしょう」と答えようとしたが稻妻のように脳から「まで!!」と言う命令がきた。それでは発言者のプライドが丸つぶれになつてしまふ。咄嗟に「私は黒だと思つていますが大変よいご質問をいただき勉強になりました。これを専門家の落とし穴というのです」と答えた。会場は厳肅な空気が流れ静まりかえつたのを覚えている。

その時、脳と口とのつながりを強く感じ恐ろしさを覚えた。数年後、休日に市営バスから降りようとしたらお客様とすれ違い「あなたは電話局の方ですか」と尋ねられ「ハイそうです」と答えると「前にあなたの話を聞いたことがありますよ」とのことだった。私はあつそうですが一言述べてバスを降りましたが、歩き出してから、そうだあのときの方だなと思いだした。お互い忘れがたい出来ことだつたのだ。若輩の私を教育してくれたのだなど感じ心に深く刻まれた「電話加入説明会」の思い出だ。

②昭和24年二省分轄があり、八戸局の窓口は八戸郵便局の郵便、貯金の窓口と同じ並びにあった。貯金課長のT氏は盛岡出身の方

だつた。その方が急に倒れ、ご子息が盛岡電報局員だつたのですぐ知らせて欲しいと依頼があり、私が盛岡回線を呼び出し彼に「お父さんが急に具合が悪くなつて倒れたそうですが」と伝えた。「当つたのか」と打つてきました。まさかトントントンとも打てずかなり悪いようですと答えた。彼は「有難う」と言つて通信を終えた。

彼は全国通信競技会で優勝するほどのオペレーターで倒れた父上は地元デーリー東北紙の川柳選者を担当したこともある川柳の大御所だ。これも忘れられない通信の一コマです。長い間の色々な経験が私を支えてくれた。卒寿を迎えたこともあり、今年の年賀状に歌一首を添えたので披露させていただきたい
（どこまでも山河の道往く旅人は

楽しき日々の永きに挑む）

北アルプスの想い出

上山電友会

佐藤 三男

私が初めて山に登つたのは、職場の先輩に千歳山登山に誘われてからである。その後毎週のように近くの山々に登つた。汗をかき苦

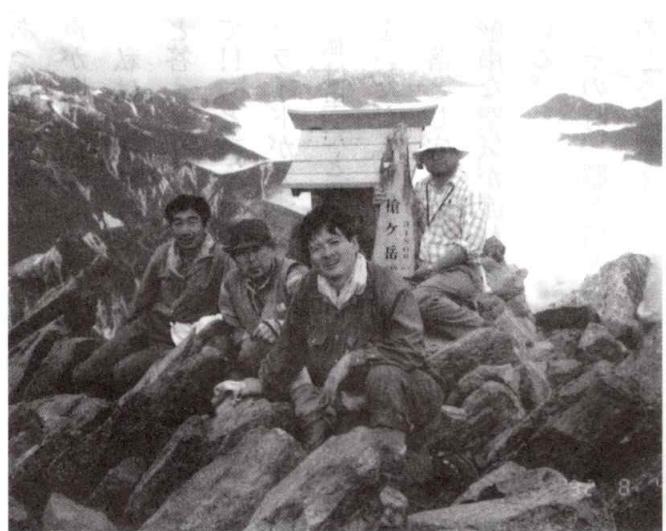
しみながら一歩ずつ登り山頂に立つた時の達成感は、何事にも代えがたく大きな喜びとなり、自分の人生の励みとなつた。山友会の仲間と北アルプス槍ヶ岳、穂高連峰登山を目標に体力造りと技術向上の為に朝日や飯豊連峰、鳥海山、岩手山、早地峰、吾妻連峰、安達太良山、富士山等に登つた。

毎年約20回程山々を登り続け経験者の意見や資料を慎重に調べ北アルプス登山のコースと日程を決めた。出発は1992年8月2日、7泊8日の予定。参加者は4名。早朝山形を出発し、高速道路の上高地の手前まで行き、タクシーに乗り換えて上高地に入る。釜トンネルを抜けると左手に荒々しい焼岳、噴火で出来た大正池、更に前方には、私達が目指す

3000m穂高連峰の山並の迫力に圧倒された。林の中を抜けバスターミナルに着く。荷物を各人が背負い5～6分歩くと上高地のシンボル、梓川に架る河童橋に着いた。梓川に沿つて今夜の宿、横尾山荘に向つて約3時間歩くと木立にかこまれた山荘に到着。夕暮れ迫る宿の前のベンチに座り、北アルプスにつ

程の工程だが、各人は背中に20kgの荷を背負い、急登に体は悲鳴を上げた。それでも蝶ヶ岳から見える、穂高の山々に感動：常念岳を目指してさらに登る。夕暮れ近く約13時間かかって常念岳を必死に越えて常念小屋に着く。高山病か、お茶食物一切体が受け付けず、そのまま床に着いて眠つてしまつた。翌朝、昨夜

の事が嘘のように元気になりヒュッテ西岳を目指し南蔵王のような尾根歩き。途中ライ鳥に逢つたり気分は壮快だつた。東天井岳、大天井岳を抜け夕方には、ヒュッテ西岳に到着。4日目はいよいよ槍ヶ岳を目指す。小屋を出ると一気に鉄格子で約50m程下る。水俣乗越



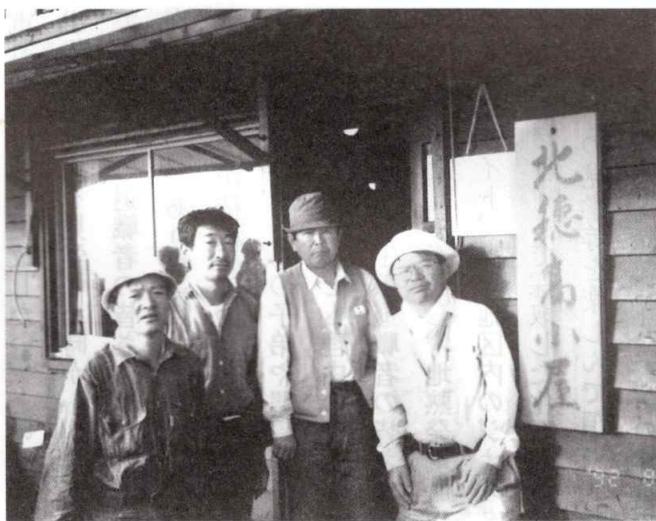
槍ヶ岳山頂 (92.8.4)

北穂小屋には、最後の急斜面の登りが有つた。雨が急に降り出したので、部屋で早目に休む。小屋の裏には北穂の山頂があり昨日まで越えて来た山々が見えた。6日目は、涸沢岳からさわを慎重に渡り紀美子平より岳沢ヒュッテの山荘に無事到着。久し振りに風呂にも入れて最高に気持ちよかつた。

想い出
秋田県北地区電友会 高砂 泰三



秋田県北地区電友会
高砂 泰三



北穂高小屋の前 (92.8.6)

市外交換台は手動式でした。

この放送を聞いた局長から私の職種換えについて相談があり、営業課を希望した所、即配置換えとなつたのには驚きました。

・ポケットベル担当係

今回のNTTと総務省幹部接待問題で、以前ポケットベル担当であつた頃を思い出しました。当時ポケットベルを販売開始する地区には“電波の割当て”を受けて移動通信会社（現在のドコモ）の営業所を開設することとなつておりました。この“電波の割当て”は郵政省の電波管理局からの認可が必要でした。この際、接待があつたのかどうかは分かりませんが、「〇〇営業所の所長は当局から…」という申出があり、この件を承諾しないと“電

ました。ある日突然放送局から「男性の電話交換手は珍しい」ということでインタビュー取材がありました。このインタビュー取材で私は「男性交換手が応答すると、通話する相手と勘違いして電話番号を告げずに会話が始まるので困惑したことや、男性の声はお客様に伝わりにくい」等々を述べました。（当時、

の駐車に戻り松本城を観光後、浅間温泉の近くの美鈴湖畔にテントを張った。8日目は

…」とあります。この唱を聞きながら以前勤めた電電公社時代の想い出を：

を過ぎると東鎌尾根で、木々の姿は消えて岩場で起伏に富んだ尾根道になる。前方に槍の

姿が見える。昼前に槍ヶ岳山荘に着き、宿に荷物をあずけ槍ヶ岳へ登る。荷物が無いので

小屋のすぐ上に見えて、列を作つて鉄格子を慎重に一歩ずつ順番に登つた。やつとの思いで10数人が立てる程の山頂に立つ。山頂の祠に手を合わせ、皆で写真を撮り下山する。宿では夕飯の後にベットの近くの人達と山の話ををする。5日目は穂高連峰で1番の難所に行く。南岳から北穂に渡る大キレットで瘦尾根にクサリが張つて有り一人ずつ蟹の様に横歩きで足場を確かめながら歩く。谷底までは、雲がかかり見えなかつた。ここで疲れから足を踏み外して転倒して亡くなる人が年に何人もいるとか。何とか無事にここを通過する。

北穂小屋には、最後の急斜面の登りが有つた。雨が急に降り出したので、部屋で早目に休む小屋の裏には北穂の山頂があり昨日まで越えて来た山々が見えた。6日目は、涸沢岳を越え北アルプスで1番高い奥穂岳を登り吊尾根を慎重に渡り紀美子平より岳沢ヒュッテの山荘に無事到着。久し振りに風呂にも入れて最高に気持ちよかつた。

波の割当て”が認可されなかつたことを思い出しました。このような状況が「電電公社からN T T」「郵政省から総務省」になつても続いていたのだと痛感した次第です。

・文章をかくことにコンプレックス

管理機関に数年間勤務しました。文書を書くことが仕事であつたため見よう見まねで文章を書きましたが、係長→課長→部長へ決裁

文章が回っている間に、私の書いた文章は真っ黒になつていて跡形もなくなり面喰いました。辛うじて「されたい」という箇所が残つてゐる状態でした。

これが毎日のように続くため「文章を書く」ということにコンプレックスを感じるようになり、その後遺症が現在も継続中です。

地域貢献という名の

ボランティア活動について



秋田県南地区電友会 佐藤 敬吉

昭和41年に電電公社に入社し、40数年ぶりに退職後故郷に帰り大変驚きました。

私の生まれ故郷は湯沢市の中心部から約14キロの中山間地で、春は山菜や桜、秋はキノ

コに紅葉と自然豊かな住みよい土地柄です。交通機関（バス）も利用者の減少で撤退し、冬になると2m近い雪に埋もれ自家用車なしでは生活に支障をきたす程であります。

故郷を出る時には60軒程あつた集落から21軒もの住宅が消えているのです。残つてゐる住宅も農家の後継者不足等で今後10年先を考えると心配が募るばかりです。

今から25年前、当時の市長が「湯沢市の電気通信設備を更改したい」ということでN T T秋田支店を見学した時からか、市役所内でのN T Tの退職者の皆さん非常に評価が高く、「教養があり常識的で責任感があり事業への参加が積極的だ」等の声を耳にします。退職者の皆さん子弟や関係者が市役所職員に多いといふことも理由のひとつとも思われます。時々N T T退職者の皆さんを私がボランティアとして案内し、地熱発電所の見学や各ジオサイト、高松地区内のジオスター☆ゆざわ（ジオサイトで採取した化石鉱物資源の展示場）の見学等を楽しんで頂いておりまます。この地域では、地熱発電所の建設が盛んに行われています。一昨年には「地熱サミット」が湯沢市で開催され今後地熱発電所の建設は、5箇所が予定されています。稼働中の地熱発電所は2箇所で、23年ぶりに発電出力

は国内4番目の大規模発電所として稼働しています。

湯沢市役所では、地熱のまち「ゆざわ」として全国的に売り出したい狙いがある

ようで、市長は2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロにする国のカーボンニュートラルについて市内で開発が進む地熱発電を中心取り組む旨の決意を述べています。

地球の活性化、公共的課題の解決、地域共生社会の構築、人口減少を乗り越える等の課題を解決するため地域貢献活動とゆう名の基

に、多忙なボランティア活動の終わりは見えないようですがこの地域貢献活動で故郷への恩返しと、現状を理解するべきと悟りました。

毎日が日曜日



秋田県南地区電友会 相川 重喜

待望の「毎日が日曜日」今日どう過すか考えている内、夕方になり1日が経つてしまいます（笑）。幸いに秋田県南地区電友会にお世話になることで先輩方の歩まれている轍を参考とさせて頂き、過ごし方、趣味等を学べることで安堵しております。私は昭和53年埼玉県朝霞電報電話局に採用、埼玉支社を経て

平成2年に大曲支店、設建センタ・資材調達センタ、秋田支店、M E 東北でお世話になりました。平成17年秋田支店、法人営業部（現イノベーション部）に着任し、再雇用、契約社員を含め、今春に43年間のNTT生活にビリオドを打ちました。当然ながら皆様のご支援があつてこそと感謝申し上げます。これら自肅生活の中、資格向上への挑戦と野山で1日1万歩を継続して行くことと思います。そして何よりもコロナ終息を願わざには居られません。



老人の夢

千秋クラブ

荒川 紀夫

友が次から次へと逝くな生きているのが申し訳なく思うときがある。生きるためから始まつた人生、いつしか成長する自分の心の過程に3つの意思があることに気付く。生きるために、補うためそして高級な人間の意志があるため、好きです。若い頃、伊のミーナの「幸せがいっぱい」が私のベストテンのトップでした。

私は歌が好きです。特にバード系のものが好きです。若い頃、伊のミーナの「幸せがいっぱい」が私のベストテンのトップでした。

イノベーション部）に着任し、再雇用、契約社員を含め、今春に43年間のNTT生活にビリオドを打ちました。当然ながら皆様のご支援があつてこそと感謝申し上げます。これら自肅生活の中、資格向上への挑戦と野山で1日1万歩を継続して行くことと思います。そして何よりもコロナ終息を願わざには居られません。

「ありがとう」の言葉を忘れずに



千秋クラブ 小幡谷 則夫

自動改修工事が盛んな頃、12名が線路職として配属となり、入社式は7階の局長室で行われた事、早く一人前になろうと思いながら多くの先輩に支えられた事が、昨日のように思いだされます。

故障修理に同行し、補助作業をしていた所、お客様から自分に「有難うございました」と感謝の言葉をかけて頂いた事が、今でも忘れずに心に残っています。街でよく高所作業車を見かける事がありますが、今も私の心の中に、ラインマンの仲間との絆を持ち続けてい

時が流れ私のM・マチューの「愛の信条」が好きになり、現在は別の曲が好きです。出来るものなら世界音楽祭の大会を開き歌を聞きたいものです。世界の各洲ごとに地方大会を開きその大会の集計を日本でやることが出来れば最高です。77歳の老人の夢です。

アジア・アメリカ・ヨーロッパ・そしてアフリカ・オセアニアと地方大会で聞くことです。

喜寿を迎えて



千秋クラブ 佐々木 克明

昭和37年高校卒業と同時に東京港区麻布の東京電気通信学園に採用されました。

布団をチックで送り米の通帳持つて不安がいっぱいの上京でしたが地方出身者も多く、寮生活でしたのですぐに馴染んでいきました。

周辺は有栖川公園や大使館などがあり閑静な所です。学生気分のまま研修に遊びに樂しく過ごしていました。半年後関東管内の扱局にそれぞれ配属され社会人スタートしたことになります。街でよく高所作業車を見かける事がありますが、今も私の心の中には、ラインマンの仲間との絆を持ち続けています。

誕生日に喜寿のお祝が届きました。節目節目の、長寿にお祝いを頂ける事に感謝し、また、忙しく働き回る事が健康と感じています。

お客様より声を掛けられた『ありがとう』の言葉をこれからも忘れず、大事にして行きたいと思っています。

誕生日に喜寿のお祝が届きました。節目節目の、長寿にお祝いを頂ける事に感謝し、また、忙しく働き回る事が健康と感じています。

い欠かさず晩酌もできてるし「米寿までがんばるか」なによりも健康が一番、ゆるゆるといろいろガンバロー

を背負つてくれています。
喜寿のお祝いを頂き、心からお礼申し上げ
ます。時節柄厳しい日々を迎え、皆様のご活
躍をお祈り致します。

思い出

千秋クラブ 畠山 昇



喜寿祝

千秋クラブ

山岡
正子



採用の昭和37年は、前の年に秋田国体が催され、開会式典に関わっていたことを思い出します。皆様とご一緒にから36年間、大変なご支援を頂いた思いは尽きません。

研修時に垣間見た、都会の生活様式に驚き、また、地名を耳にすると、直ぐ所在地が浮かんでくる等は、今も脳裏に働きの一環が染みこんでくる。

喜寿で思うこと

千秋クラブ

石井
卓夫



令和3年2月に77才の喜寿となり、いつも
他人事のように感じていたことがついに自分
の「番」となつたと感じました。今回電友会
様よりお祝い品を頂き誠にありがとうございました。
最近新型コロナウイルスと言う言葉
が飛び込んでいます。お互いに注意して健康
で過ごしていきたいと思います。

人生を振り返ると電電公社・NTT時代は仕事が中心の生活だったと感じています。高校卒業後の昭和37年に秋田県北の鷹巣報話局施設課に線路職で勤務しました。当時は磁石式電話機時代で電池取替作業や人力での電信柱（木柱）の建柱作業で大変な思いがありました。その3年後に秋田電話局へ転勤になりました。なり家から通勤となりました。その仕事も3年で終わり上司に若い内に勉強して来いと指導され、仙台で7年間過ごし秋田に帰つて来

ました。その後転勤と職種等の変更で平成11年3月に55才で能代を最後に退職しました。36年と6か月の勤務でした。退職後第2の職場として通信工事会社へ就職し約4年間勤務病気のため平成15年に退職し現在に至っています。現在は、体調も回復し元気に過ごしています。

行っていますが、これからも皆さんのお邪魔にならないよう続けたいと思います。日常は座れば好きな編み物を、手の指先きが忙しさ

ないよう過ごしていきたいと思います。最後に電友会の益々の発展を祈念しております。

ランニングコース雪かき15年



千秋クラブ

高橋 幸雄

秋田市の南部に市の一つ森公園がある。四季の自然と触れ合える散歩コース、バーベキュー等を楽しむ広場、体育館、ストレッチルーム、一周421mのウォーキング・ジョギングコースがあり四季を通して早朝から市民が利用している。私も走力アップ、筋力増強のため退職してから毎日のように利用している。そこは県内のランナーの格好のトレーニングの場にもなつており多くの方々が集まり一緒に練習、情報交換の場になつていて。

しかし雪国秋田は冬の練習の場が全くないと言つていい。そんな時数年前からコースの雪かきをしているひとりの仲間に出会い、退職してから冬の練習場を確保するため2人でランニングコースの雪かきをしている。朝まだ薄暗い4時半頃からコース1周を終えるまで1時間半はかかるが早い人で5時頃からウォーキングに来る人、ランニングに来る人がいる。雪を踏み固められるとやりにくくなることからインコースを先に行い、次にアウトコースといったように積雪量によつて工夫している。全てが手作業で用具も自前、1

日に2～3回やるときもある。8年前地元新聞に2人の紹介と除雪の模様が掲載された。ラジオの取材、昨年はTV取材も受けた。

利用者は市からお金をもらつてやつてている

と思っている人もいるようだが全くのボランティア。自分としては人のためにやつてているのではなく自分が練習するコースの確保だと思つていて。最近走る仲間が協力してくれることになつたので助かっている。

15年前の始めたころに比べると降雪量は少なくなつてきているが今冬は降雪量多く苦労した。コースの除雪をしてから家の前の除雪は勿論である。自分の練習の合間にランニング指導もしている。もちろん秋にはコースの落ち葉清掃もやつていて。

50年前文部省の指導者講習会に派遣されてから余暇活動としてレクリエーション、スポーツ指導、スポーツ少年団の指導等をやつてきた。そんなことから昨年10月、令和2年度文部科学大臣表彰の「生涯スポーツ功労者表彰」を受賞した。

生涯スポーツとは、健康づくりや社交の場を目的として生涯を通して、いつでも、どこでも、誰でも親しめ継続して行うスポーツのことを言う。「健康の第1歩は歩くことである」。自分の生涯スポーツはランニングであ

るがウォーキングも継続し健康な日々を過ごしたい。

里山の炭焼



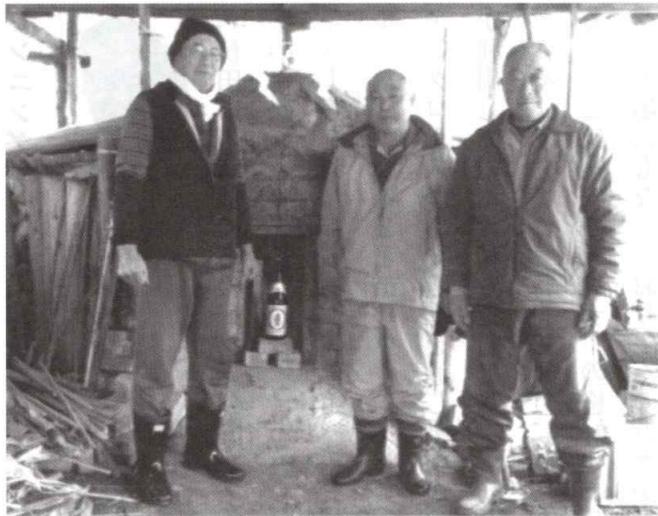
秋田県北地区電友会

戸松 憲三

退職して早や15年、後期高齢者の仲間入りはしましたが、朝夕の薬と適度な運動（畠仕事等）で割と元気に過ごしています。

私の住んでいる能代市檜山母体地区は、中心部から10キロ程離れた稻作中心の農村片田舎で、戦国武将「安東愛李の居城跡」「すだれ桜で名の知られた多賀谷家」「菩提寺多寶院」「羽州街道の松並木」そして秋収穫前の「案山子コンクール」など、地方の町の少子高齢化の例にもれず人口減少と寂しさが年々進む里です。

これではならず地域の皆さんと活性化に色々と取組んでいる1つとして「炭焼き」があります。発端は山林の手入れが疎かになり、特に山裾迄熊が出没する状況を防止するために裾野を伐採し明るく美しい風景にしようとの里山保全の取組からです。伐採した樹齢40～50年の枯木は炭焼きに活用しようとの活動



炭焼窯前で（左端が私）

が始まり、私も3年前から手伝い始めました。炭には備長炭のような高価で素晴らしいものもありますが、大別すると精錬過程の違いから黒炭と白炭に区分されます。私共の作る炭は白炭で火付きがよく適度に長持ちすることから焼鳥・バーベキューに最適とのこと。

炭が出来るまでは①植木の伐採②炭小屋までの運搬③適度な太さへの割り作業④炭窯への搬入作業⑤火入れ、火入れ後3～4時間後に通気口確保の上入口を重い蓋で閉じる、そして3日後に⑥窯出し、窯出しは約800度の真っ赤な棒状の炭⑦窯から出た真っ赤な炭へ消し粉をかけ完成。消し粉をかけることに

より炭の表面が白っぽくなることから「白炭」と言われるそうです。木炭本来の用途のほか脱臭・防湿用剤・細く固いものは風鈴に加工されます。

山の裾野を伐採することにより山が明るくなり、日当たりが良くなつたことで山躑躅の花が良く咲くようになり、また山菜が良く育つ等思いがけない効果も表れています。

私共の炭焼きは、この頃知れ渡るようになり、昔懐かしい炭焼きを見学や体験したいとの声があり、今年2月には秋田ラジオ放送で実況放送、更にはテレビ局県内番組でも放映されました。（私もチョット、後姿でテレビ出演？）

炭焼き作業は地域住民のボランティアで、現在4～5人でやっており個々の得意分野を活かしながら楽しくやっています。特に窯出し時は期待と緊張そして炭の出来映えに「一喜一憂」しているところです。（炭は、名付けて春香炭）炭窯は田圃のすぐ側まで車で来られるところです。興味のある方どうぞ見物にお出で下さい。その節は地域の歴史についてご案内します。小生、地域活性化の一助となればと歴史ガイドの会の会員（まだまだ未熟なガイド：）にもなっています。

年2回発行の電友会会報を読むことは、私



秋田県南地区電友会

小林 武祐

すべからく道半ば



出来上がった「春香炭」

にとつて大きな楽しみです。現役時代の仕事仲間、紙面で初めてお会いする方々の色々な記事に接することは、昔を思い出し楽しみがあり喜びでもあります。

畑での野菜作り、炭焼き等春夏秋冬、田舎暮らしを楽しみながら当面、傘寿を目指し気張つていこうと思つてているこの頃です。

数年前から「年ダナー」「年のせいだべがー」の連発である。体が重い、動作が緩慢、物忘れ等々「んだんだ俺もだー」「困ったもんだー」と同調する仲間も多いが、最近ではコロナ禍と結び付けさっぱり動かない。これからのが人生後半はどうなるのか？」そんな中、購読している新聞連載に、かの有名な文豪、五木寛之「新・地図のない旅」という記事に出会った。年代はひと回り上であるが、正に「人生の後半をどう生きるか？」明治時代の寿命より、一気に倍になった現在「100年人生をどう生きるか」そして自分の後半人生には何が待っているのか？迷いながらもその旅のヒントを探していくと言った設定である。自分はヒントの幾つかの記事に相槌を打ちながら、自分の人生後半を重ね浸っている。1つ目として・どんぐりころころの歌知ってる？歌つて！どんぐりころころどんぐりこ♪カーン、なぜ？どんぐりころころドンブリコ♪です。2つ目・公園散歩、時折若い人達が大股でスイスイ歩いていく（いま颯爽と歩いておきたまえ、あと50年もすれば杖にすがるよ）3つ目・ヨチヨチ歩きからスイスイ歩き、やがてヨタヨタ歩きへと変わっていく。（これが人間の一生というものだろうか）4つ目・物を置き忘れて探すのは毎度のこと大事な物

をしまうときは手帳にメモすること。ところが手帳の置き場所を忘れる。しかしながら昔の暗記させられたことなどはスラスラ出てくる（これをマダラぼけ）5つ目・ペットボトルの蓋が開かない。外出先でトイレ水洗機器の表示に戸惑う等々。

現実「年はとりたくない」というよりも「年をとったもんだ！」我が人生折り返し地点通過、しかし何を考えても「すべからく道半ば！」「見えないゴールを目指し邁進しよう」である。

◆会友コーナーへの投稿について

○他紙等への二重投稿はご遠慮願います。

○随想コーナーへの投稿については誌面の都合上、左記内容にご協力をお願ひいたします。

○掲載・・・年1回

ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただく場合があります。

○字数・・・1200字以内厳守

紙面の都合上、調整させていただく場合もありますのでご了承願います。

○次回締切り・・・令和3年10月20日厳守

会友コーナー作品募集

会報編集委員会では会員の皆様からの原稿を募集しております。

○短歌・俳句・川柳など

〈お一人3首(句)以内〉

○随想・旅行の思い出など

〈1,200字以内/年1回掲載※〉

※ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただく場合があります。

【お問合せ・連絡先】

電友会東北地方本部

▶電話(022)212-1443

▶E-mail : keyaki@cocoa.ocn.ne.jp

▶FAX(022)212-1444

でんでんみちのく 川柳コーナー

お題は自由です。
お気軽に
応募ください！

弘前地区電友会

ゆきやなぎ

樂しみはワクチン接種夏が来る
夏来てもまだまだ続く家こもり
家こもり無駄金だけは使うまい

花筏風に吹かれて列乱し

五ツ橋クラブ 北村 俊幸

妻こぼす愚痴を拾つて川柳に
熱が出て学校休んだ孫を抱く
コロナ禍で腹が立つから横になる

福島地区電友会

高橋 敬一

暇人がロボット掃除を見張ってる

カーナビも迷うほどの秘湯宿
コロナ禍で使うすべない無料バス



千秋クラブ

高橋 幸雄

六年の思い出詰めたランドセル
巣ごもりで頑固親父も影ひそめ
勝手ながら編集担当で選定いたします。

ひとくちメモ

OB関連の問合せ先

NTT企業年金基金に関すること

NTT企業年金基金

フリーダイヤル

0120-372-547

NTTグループ規約型企業年金基金に関すること

企業年金ビジネスサービス

フリーダイヤル

0120-563-976

NTT健康保険組合に関すること

NTT健康保険組合

フリーダイヤル

0120-375-617

相互扶助部、火災共済等に関すること

電気通信共済会 福利厚生お客様総合センタ

フリーダイヤル

0120-137-294 (ヒトミナフクシ)

NTT東日本から退職者の皆さんへ

■長寿お祝いについて (勤続20年以上の退職者対象)

NTT東日本社長からのメッセージを添えた「カタログギフト電報」と花を贈呈させていただきます。

長寿の種類	贈呈品
喜寿（77歳）	
米寿（88歳）	カタログギフト電報+花 (1万円相当) (5千円)
白寿（99歳）	

(注: 年齢は満年齢でNTT東日本が把握し贈呈しております)

■弔慰金の取扱いについて (勤続20年以上の退職者対象)

NTT東日本から以下のとおり香典をお贈りしています。

本人・・・30,000円

配偶者・・・10,000円

※贈呈期限については、長寿お祝いは該当年齢の誕生日から
弔慰金は死亡の事実が発生した日から、それぞれ2年以内と
なります

長寿のお祝いおよび弔慰金に関するお問合せは
NTT東日本-東北 総務部 社員サービス担当へご連絡ください
TEL: 022-281-8716
Mail: obfuhou@east.ntt.co.jp

◎表紙写真の紹介

シリーズ 活き活きと

「仲間と集う 明日も共に」

89号は秋田の仲間の活動紹介です。

秋田の夏の風物詩「竿灯」や正月行事「ぼんでん」にはNTT秋田グループとして参加していますが、この中でも経験豊かな電友会OBは貴重な存在。若手の育成、盛り上げに大いに活躍しています。また、お祭り参加にとどまらず平成11年からは、肢体不自由児施設や福祉施設への慰問活動にも参加。「社会貢献活動賞」もいただきました。この他、千秋クラブや県北、県南のサークルでも老人施設訪問等活発に活動しています。こんな姿を秋田の特産「蕗」と「秋田犬」でかたどつてみました。

コロナが収まつたら、皆さん是非秋田さ来てけれ!

次号は宮城です。どんな仲間が活き活きと活動しているでしょうか。

(写真提供／電友会秋田支部)

● ● ● 編集後記 ● ● ●

次号は宮城です。どんな仲間が活き活きと活動しているでしょうか。

（写真提供／電友会秋田支部）

最後に、少し前の状態を思い起こし駄作を

コロナ禍の続く中、今回も沢山の投稿をいたしました。一年半にも及ぶ自粛ですが、

皆さんお元気で逞しく暮らしていらっしゃる

様子が記事からうかがえ、読んでいて元気づけられます。

この会報が届く頃は、ワクチン接種の2回目も終了という方が大半になるでしょうか。これでコロナ収束の目処が立ち、平穏な生活に戻つてくれればと願うばかりです。

さて、編集子も今回で交代となります。8年に亘るご支援に心から感謝申し上げます。

この間、震災特集号（74号）に始まり、80回記念号や会員リレーコーナーの開始（78号）、88回記念号などを企画し、より多くの会員が登場する会報となるよう心掛けてきました。また、表紙絵では、81号から「よみがえるあの頃」と題し、古く懐かしい仕事場の風景等の掲載や87号からは「シリーズ活き活き」として、仲間の活躍する姿を紹介してきました。拙い企画にも関わらず、「古い仲間の顔が見られて嬉しかった」「投稿がきっかけで交流が再開した」等の声も寄せていただき、事務局の大きな力となりました。ありがとうございました。

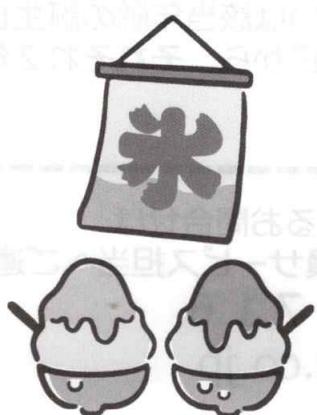
- ◆次号（90号）会報について
 - ・発行時期 令和4年1月1日
 - ・原稿締切 令和3年10月20日（期日厳守）
- ◆次号（90号）の巻頭言は、NTT東日本宮城事業部様、電友会宮城支部にご協力をお願い致します。

（S・T）

空しく響く輻輳トーキー」（モト・ジウン）
お後がよろしいようで…

皆様の益々のご健勝を祈念しております。

◆89号の巻頭言は、NTT東日本秋田支店長様にお願いしました。心より感謝申し上げます。



東北電友会会報 第89号

令和3年8月1日発行

〒984-8519

仙台市若林区五橋3-2-1

電友会東北地方本部

FAX 022-212-1444
印刷 株式会社仙台紙工印刷

「ワクチンの 到来待ち兼ね連打して

《宮城支部 五ッ橋クラブからのお知らせ》

五ッ橋クラブでは議案書発行にあわせて、R2 年度から会員の近況報告を作成しております。コロナ禍により総会が中止になり、サークル活動も自粛・・会員の活動も制限されて皆さんに会うこともためらわれ、息苦しい日々を過ごしておりました。

あの人はお元気なのだろうか?コロナ禍の中、どのように過ごしているのだろうか・・等々、会員の皆さんも気にかけているのでは?と思い、事務局では総会中止の案内にはがきを同封し近況を書いていただきました。

結果、今回も 300 人を超える大勢の方から心温まるメッセージをいただきました。

初回の令和2年度は

私は元気です！！

～早く日常が戻りますように、と願いつつ～

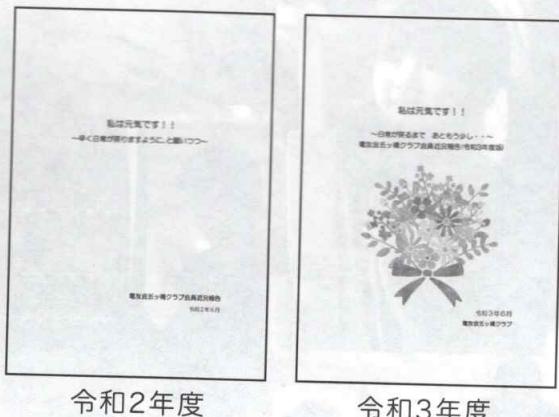
令和3年度は

私は元気です！！

～日常が戻るまで あともう少し～

電友会五ッ橋クラブ会員近況報告(令和 3 年度版)

《近況報告の表紙》



近況報告が会員同士の心の絆や癒しにつながる一助になる事を願って冊子にいたしました。

東北の電友会会員の皆様、五ッ橋クラブ近況報告には昔一緒に働いた方が載っているかもしれません。読んでみたいなあと思われた方はご一報くだされば 1 部差し上げますので、8月23日(月)～8月31日(火)の期間にご連絡くださいますようお願いいたします。ただし、在庫に限りがありますので(R2 年度版、R3 年度版 各 20 冊)なくなり次第終了となりますこと、ご了承願います。

連絡先 電友会東北地方本部事務局

電話 022-212-1443